

所属:南3階 熊崎智浩(写真中央)

男性看護師として働き始めるには、誰でも初めは不安があると思います。看護学生時代に女性が多い社会での生きる続べを身につけて来たとは言え、新たに仕事をすると新たな不安が。女性のちょっと怖い先輩がいるとか、患者さんに受け入れてもらえるかとか。不安はつきません。しかし中津川市民病院は、新人看護師が少ないデメリットもありますが、新人を育てる環境としては整っています。何と言っても先輩は優しい。新人男性看護師が入職したとなればとても気にしてくれます。それが強みです。

それは土地柄ということもあり、地方であるという側面もあるでしょう。赴任される医師からも同様な意見を聞きます。男性看護師も自分の入職時に3人程度だったのが増えて現在は11名までスタッフが増えました。男性看護師で集まれば大概くだらない話をしているわけですが、ただ、病棟の女性スタッフも飲み会に誘ってコミュニケーションをとることで部署の雰囲気作りに貢献しています。もちろん仕事もまじめにやっております。

自分も看護師をするかたわら、自転車に乗ったり、山を走ったりしています。レースにも参加しているわけですが、中部、関東、関西、全ての場所へのアクセスが楽で広く活動できるのも魅力です。都会ではなく利便性ではかなわないですが、自然が豊かでそれを生かした趣味を实践するには最高の環境だと思います。

リニア新幹線の開業が13年後くらいになり駅が当院から数キロの場所に立地され、しかも目と鼻の先に世界初となるリニア新幹線車両基地、並びに整備工場が設置されます。近未来、中津川的环境も変化が予想されます。将来を見据えてここで働くのもまた、楽しいのではないのでしょうか。

所属:南3階 加藤誠二(写真右)

男性看護師はまだまだ少なく、女性の多い職場でやっていけるかという不安はあると思います。私は女性の先輩という怖いイメージがありましたが、中津川市民病院の女性看護師はやさしい人ばかりです。男性看護師が少ないこともあり、みなさん気にかけてくれて、良くしてくれます。また、当院の男性看護師は、おもしろい人が多く、プライベートでも遊んだり、飲みに行ったりして楽しいです。あなたもぜひ一緒に働きましょう！

所属:南3階 山田悠貴(写真左)

看護大学1年生の冬に本院に就職することを決め、昨年無事国試に合格し働き始め、今年で2年目となります。本院を選んだのは、看護部の理念に「優しさ」「思いやり」という言葉が入っていたからです。看護師を目指そうと決めた時に、このありふれた当たり前の言葉を決して忘れないと考えたことがあったので何か運命的な出逢いを感じて、気付いたら履歴書を送っていました。

実際に働いて1年がたちますが、新人に対しての先輩たちの指導が大変丁寧で、新人教育のカリキュラムが充実しています。また、本院は少しずつですが男性看護師が増加しており、私が入った病棟では2人の先輩男性看護師がおりとても馴染みやすかったです。はじめは女性ばかりの職場に入ることに不安がありましたが、男性だからこそその視点や考

え方を受け入れてもらえる環境があり次第に緊張も解けてきました。

きっと本院でなら女性・男性という区別なくのびのびと働けるのではと思います。是非男性看護師の皆さん、中津川で一緒に働きましょう！

